

平成26年 秋の栄典者

平成26年秋の叙勲・褒章において、本市からは、瑞宝双光章に2人、瑞宝単光章に2人、黄綬褒章に1人の計5人が栄誉に輝きました。受章されたみなさんを紹介いたします。



瑞宝双光章

飯村 武男さん

元茨城県警察
警部

(71歳・小島)

昭和39年に勝田警察署に新任巡査として勤務以来、県内6箇所の警察署で主に刑事として職務に精励し、平成16年につくば中央警察署の警部として退職まで41年間を警察官として務められました。「今回の受章は、職場の先輩や同僚、地域の皆さまのご協力、そして家族の支えによりいただいたものと感謝しております」。



瑞宝単光章

鯨井登美子さん

民生・児童委員

(75歳・下妻丁・仲町)

昭和52年から38年にわたり民生委員児童委員として地域住民の福祉向上に尽力し、平成26年からは財団法人茨城県民生委員児童委員協議会の会長を務めるなど、福祉行政の協力者として貢献されました。「身に余る光栄を賜り、地域の方々のご理解ご協力、家族の支えに感謝の念に堪えません。今後も地域のために努めていきたいと思っております」。



瑞宝双光章

谷元 忠夫さん

元茨城県警察
警部

(71歳・下妻丁・仲町)

昭和38年に下妻警察署外勤係に新任巡査として勤務以来、県内各地で交通機動隊の白バイ隊として交通の指導・取り締まりを担当するなど、平成16年に古河警察署の警部として退職まで41年間を警察官として務められました。「地域の方々のご協力、家族の支えがあって生涯の仕事を全うできました。皆さまに感謝申し上げます」。



黄綬褒章

河井 洋子さん

看護師

(61歳・新堀)

特別養護老人ホーム「愛宕園」で総主任を務め、40年にわたり看護師として高齢者の日々を支えながら、看護職員等の後進の指導や育成に精励し、高齢者福祉の向上に尽力されました。「みんなで作ってあげた職場で、周りの方々に恵まれました。職員の方々や家族の協力があったので受章です。支えていただいた皆さまに感謝いたします」。



瑞宝単光章

肥田 定夫さん

元茨城県警察
警部

(71歳・長塚)

昭和42年に日立警察署外勤係に新任巡査として勤務以来、県内7箇所の警察署で主に刑事、公安に係る業務を担当し、平成16年に下館警察署の警部として退職まで38年間を警察官として務められました。「人とのつながりを大切にし、職務に専念することができました。家族や家内に苦勞をかけたことに対して感謝しています」。

待望の「県道山王下妻線バイパス」開通

都市計画道路「南原平川戸線」の一部区間

「交通安全祈願式」を開催 アクセス向上「地域振興」に期待

国道294号の平川戸地区と県道谷和原筑西線の大宝地区を結ぶ「県道山王下妻線バイパス」(延長700メートル)が竣工し、「交通安全祈願式」が11月25日、県や市、土地改良区などの関係者約30人が出席し、本線上で執り行われました。

式典で稲葉市長は「国道からのアクセス性の向上は、つくば下妻工業団地への交通の利便性はもとより、観光施設のにぎわいづくりにも結びつく。国道294号から県道結城下妻線までの3.8キロメートルが全線開通したあかつきには、市内東西を結ぶ道路として、市民や誘致企業の交通の利便性が向上するとともに、南部環状線とあわせて市の活力に大きく寄与する」とあいさつし、市事業区間の早期完成に協力を求めました。

この後、各関係機関の代表者により、「交通安全祈願」の文字に御神水を注いで祈願し、パトカーの先導で通り初めが行われました。

平成29年度末に全線開通

今回の開通で、つくば下妻工業団地や大宝周辺地区からの国道294号へのアクセスが特段に向上します。また、これに伴い騰波ノ江小学校周辺通学路における通過交通が排除されるなど、安全で円滑な交通環境が確保されます。

都市計画道路「南原平川戸線」は、総延長3,800メートルのうち、主要地方道結城下妻線側の1,100メートルが既に市道として開通しており、今回の開通で東西両側が開通したことになります。残る中央部分の県道谷和原筑西線から西側2,000メートルの区間は現在、市が関東鉄道常総線の跨線橋などを施工中で、平成29年度末の開通を目指して整備を進めています。

